

## パブリックコメント実施結果

○案 件 名 西伯病院経営強化プラン

○募集期間 令和5年2月28日から令和5年3月22日まで

○提出方法別提出者数

提出方法	件数
郵送	0件
ファクシミリ	0件
電子メール	2件
窓口・回収箱	10件

○提出されたご意見・ご提案とその対応

該当箇所		ご意見・ご提案	対応
ページ	○行目等		
1	—	経営人の若返りが必要である。	今回のプランを病院経営を見直す契機とし、全職員が経営意識の向上と経営改善の取組みを進めてまいります。
2	—	西伯病院側の考え本位ではなく、患者さん、病院の利用者の方、地域の方等の意見や要望を第一に考えるように改めてほしい。	全職員が、基本理念にある「信頼と満足の得られる患者本位の医療の提供」を日々、意識して取り組んでまいります。
3	—	職員全体の教育の徹底を。西伯病院の職員は昔から色んな意味で知識が薄い。	教育研修等の強化に取り組み、職員一人ひとりのレベルアップを図ってまいります。
4	—	地域住民に広く本プランを浸透させる必要があります。まだまだ不足だと思えます。 南さいはくでは、福祉推進事務局を立ち上げ、町の福祉計画と一緒に推進しています。協力しますので、どのようなことが協力できるかどうか協議の場を持っていただきたい。	地域振興協議会はじめ、町内の集会にも積極的に出かけ、説明の機会を持ちたいと思えます。
5	—	西伯病院の経営好転のためには、医師の意識改革と診療体制の見直しが必要。いまの診療科、診療体制でこの先持つわけがない。医師の意識を変え、臓器医療から、いわゆる総合診療に重点をおいていくべき。	内科は総合内科、外科は一般外科の立場で診療していますが、今後いっそう、プライマリケアや、総合診療の専門医の確保（P74記載）にも取り組んでいきます。

該当箇所		ご意見・ご提案	対応	
ページ	○行目等			
6	P7 P8	図表3-2 及び3-3	全年齢人口の数字の記載があったほうがわかりやすいので入れてほしい。	修正します。
7	P8	—	西伯病院は小児科があるので、出生数の推移もほしい。	記載します。
8	P10	図表3-5	出典が記載されていないので、信ぴょう性が確認できない。	記載します。
9	P11	図表3-6	高島病院も入れておくべき。	修正します。
10	P12他		「鳥大病院、米子医療センター・・・」を言う場合は、山陰労災病院も入れておくべきだ。	修正します。
11	P25	下から2行目	町独自の繰入金という表現がストレート過ぎる。「それらに準じた町からの繰入金」等、表現の再検討をお勧めします。	修正します。
12	P30 P40 P45	図表4-15 図表4-25 図表4-30	年々、入院・外来収入の計画と実績が大きく乖離し、救急件数も年々減少しています。 次年度以降、急激な件数上昇は考えにくい。コロナ禍で予測できない状態であったことを考慮しても、この収入計画がその他の計画策定に関わっているのであれば、もっと短い期間で計画見直しの機会を持った方が良いのではないのでしょうか。 (いつも職員の皆様の丁寧な対応に感謝しています。町民としてとても誇らしく思います)	今回の経営強化プランについては、毎年度、確実に、点検・評価をし、その結果を公表してまいります。感謝のお言葉ありがとうございます。引き続き、地域の皆様を選ばれる病院を目指していきます。
13	P49	図表5-1	地域に高齢者施設がない。→ ゆうらく がある	修正します。

該当箇所		ご意見・ご提案	対応	
ページ	○行目等			
14	P49	図表5-1	地域に障害施設がない。地域に高齢者施設がない。は記載誤りでは。	修正します。
15	P52		令和1年度及び令和2年度に関しては、コロナの影響により・・・とあるが、日本初の感染者は、2020年（令和2年）1月16日。したがって令和元年度に影響があるとは言い過ぎではないか。	修正します。
16	P52	10行目	「医師2名の退職も影響していますが」を→6行目の「下回っています。」の次に「29年度中途、29年度末」を加えた後に移動すべき。	修正します。
17	P55	(3) ①	検討の場を設け、議論してきた経過をふまえた記載をすべき。	修正します。
18	P63	中段	老人保健施設がないのでとあるが、アイアイをどう考えるのか？町内にないから、住まい機能が必要という整理はおかしい。	町民の多くは、老人保健施設アイアイほか町外の介護保険施設サービスを利用している現状があり、町民の安心のための住まい機能が必要という認識をしています。
19	P67	図表7-8	西伯病院を中心にした連携のイメージとして地域密着型多機能病院の機能のイメージが記載されているが、病院関係者は理解しているが、地域住民にどれだけ浸透しているか疑問です。よく検討されていると思いますが、住民に理解してもらうための説明をする機会を作ってください。	今回の経営強化プラン策定を契機に、地域に積極的に向き、この西伯病院の役割、機能を説明させていただく機会を持ちたいと思います。
20	P70	下から5行目	病室入口の木製の扉部分を含めれば、8.4㎡になるよう設計したように記憶している。基準を満たしているように思う。	修正します。

該当箇所		ご意見・ご提案	対応
ページ	○行目等		
21	P63 P71 中段	住まいの機能について、町がどう考えているのかの記載が必要。P73では、経営への影響があるので町と協議すると記載されているが、町からの要請のことが記載されていないと意味不明。	住まい機能の不足が課題であることを、病院と町と認識共有しています。
22	P71 中段	交付税が減額された場合の影響についての記載がない。	影響額について記載します。
23	P72 下から 3行目	「精神障害者アウトリーチのイメージは・・・ピアサポーターに対し、・・・がチームを構成し支援する体制」と記載されてますが、「ピアサポーター」とは病気や障がいを持つ当事者が自らの経験を活かして支援者と協働して問題解決にあたる人のことを指し、治療や支援を受ける対象ではないため不適切な記載だと考えます。アウトリーチの対象者は図7-14の○の中に記載されている①～④となります。	修正します。
24	P74 急性期医療 への対応	急性期医療への対応として「機能の維持向上が必要」とあるが、向上させる見込みがありますか？「機能の維持」が妥当だと思う。	適切な表現に修正します。
25	P75 5疾病5事業	5疾病5事業ではなく、新興感染症も加え、5疾病6事業でまとめるべき。したがって、P82で新興感染症を別の章立てし記載しているのはどうかと思う。	5疾病6事業として記載します。 P82第10章については、ガイドラインで求められる項目として、そのままの記載とします。
26	P76 へき地医療	へき地医療（こころの巡回診療室）の取り組みは、すでに広報もされていると思いますが、いまだ知らない人も多いと思います。今後、年18回に向けて、地域としても協力したいので、これまでの問題など、地域として何を協力すればよいか教えて下さい。	「こころの巡回診療室」については、南さいはく地区の皆様の見解・要望を聞きながら、町と連携して取り組んでいきます。

該当箇所		ご意見・ご提案	対応	
ページ	○行目等			
27	P79 P80	第8章	働き方改革については、タスクシフト等についての具体的な取り組みの記載がほしい。	タスクシフトの具体的な取り組みについて、今後、検討し、実行してまいります。
28	P81	第2節	地方独立行政法人への変更等、経営形態の変更について勝手に記載するのはおかしい。	一部修正します。なお、「経営形態の見直し」については、ガイドラインの記載項目なのでご理解ください。
29	P89	予防医療の強化	予防医療の強化とありますが、人間ドック・一般健診・がん検診の広報をもっとやって欲しい。	健診事業、人間ドックの充実、広報の強化をはかってまいります。
30	P92～	第2節	P92以降の目標値を実現するための具体的方策を記載しないと絵に描いた餅になる気がします。この計画でやっていけば大丈夫と言えるような具体策の記載を検討ください。	具体的な取り組み（アクションプラン）（P88～P91記載）に着実に取り組んでまいります。
31	資料	委員名簿	ありかた協議会のメンバーに、公認会計士などを加えてほしい。	検討します。